

講座だより



【参加者の子どもたちと受講者】

令和3年12月4日（土）に『養成コース第9回』を実施しました。これまで取り組んできた森林環境教育プログラムの本番です。静岡市を中心に小学生とその保護者33名が参加してくれました。子ども達は講師の柴崎氏の楽しいアイスブレイクゲームを体験し、2コースに分かれて受講者が企画した森林環境教育プログラムを体験しました。やや肌寒い天気ではありましたが、子どもたちは元気にプログラムを楽しんでいました。

【午前】森林環境教育プログラムの実施「自然ふれあい教室」

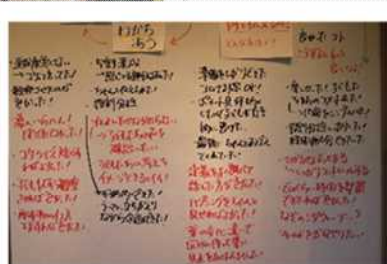
午前中は、講師の柴崎氏のアイスブレイクゲームから始まりました。その後、子どもたちは2コースに分かれ、受講者が企画したプログラムを体験しました。前回の予行から得たフィードバックを参考に、どのグループも色々な改善や準備をして臨んでいました。やや緊張する様子も見られましたが、どの受講者も笑顔で楽しみながら実施できていました。子どもたちからは「タンポポが食べられるとは知らなかった」「色々なドングリがあることを知った」「シダが飛ぶのが不思議だと思った」など、新しい発見があったという感想が聞かれました。



【プログラムの様子】

【午後】森林環境教育プログラムの振り返り

【プログラムの様子と振り返り】



午後は、各グループがどのようなプログラムを実施したのか共有しました。その後、自分達で気づいた点や「ここ良かった」「もっとこうすると良くなる」という点について話し合いを行いました。受講者からは「やってみると色々なことが分かった」「もっと子どもの視点で組み立てられたら良かった」などの感想がありました。講師からは、参加者の立場に立つことで、もっとプログラムの構成が良くなることや、参加者が実際に体験する時間を大切にすることが重要であると講評がありました。

＜発行元＞